



磁石で「ピタッ!」だから、遊びが広がる

世界中の子供が熱中「ピタゴラス®」

ピタゴラスは、図形学習用教材を幼児にも楽しめるものという中学校の先生の思いを当社が受け止め生まれた商品です。当時、様々な年齢の子どもたちに試作でひたすら遊んでもらうという検証を約2年間続けて商品化しました。この検証で掴んだ事実は、1〜2歳の子どもたちは「何かに見立ててモノを作る」という遊びをしますが、発達途中の手指ではつまみをひとりで上手く組むことができないということ。しかしピタゴラスは磁石の力で小さな子どもでも直感的に創作でき、熱中して遊び続ける様子が見られました。発売から30有余年続くこの普遍的な遊びは子育て世代にも評価が広がっており、昨年は子育てにまつわる優れたトレンドに贈られる「ペアレングアワード」を受賞。さらに販路として未開拓であった東南アジアの国々への普及の可能性も見えてきており、ますます世界にピタゴラスが広がるのが期待できます。



日本初「お米のおもちゃ®」が発売15周年

お米を知るためにお米作りに取り組み、お米のおもちゃを新たに生み出す

「お米からできたおもちゃ?」15年前の発売当初は流通業者やお客から商品について沢山ご質問を頂きました。何でもなめる赤ちゃんにとって安心な「お米のおもちゃ®」は国産米由来のプラスチック材料で製造。通常のプラスチック製品にはない「ふわりと感ずるお米のにおい」や「柔らかな風合い」から出産祝いなどに多く選ばれています。国内に限らず当時のインバウンド需要の高まりの中で「日本のお米」という安心感が好評で、いわゆる爆買いにつながりました。また新たな取り組みとして、発売10年目には新潟県南魚沼市に「ピープル農場」と名付けた水田を借り、社員やその子どもたちが田植えから稲刈りまでお米作りを手掛けています。それは「お米でおもちゃを作る会社としてお米のことをもっと知りたい」という好奇心によるもの。発売15年目の節目を迎える今年の取り組みをこれからどんどん発信していきます。



# People

2025年  
4月号

## 子どもの好奇心が はじける瞬間をつくりたい!

私達の目は、子どもの関心を見逃さないために  
耳は、子どもの本音をじっくり聴くために  
頭は、子どもの表にでない欲求を探るために  
手足は、子どもの好奇心がはじける瞬間を実現するために  
心は、子どもの未来を想像するために

### WEBサイトのご案内

**コーポレートサイト**  
<https://www.people-kk.co.jp/>

**IR情報**  
<https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/>

**赤ちゃん研究所HP**  
<https://akachan-ken.com/>

**ピープル赤ちゃん研究所  
観察日記 note**  
<https://note.com/pakkn>

代表の桐畑や社員がリアルな気づきを  
毎週発信中!

**ピートラ**

**ピープル(株)  
コーポレート広報 note**  
[https://note.com/people\\_pr](https://note.com/people_pr)

**チェック!**  
note更新や最新情報はXのフォローがおすすめ!

**X (旧Twitter)**  
@PeopleCoLtd\_JP



ピープル株式会社  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-5 VORT東日本橋  
TEL 03-3862-2768 FAX 03-3862-3730  
ホームページアドレス <https://www.people-kk.co.jp/>



パーパスにつながる、ピープルの象徴的商品

## いたずら1歳やりたい放題

発売40周年

わが子(現代表)が楽しそうに何度もティッシュを引っ張り出している!  
この創業者の観察から、おもちゃのアイデアが生まれました



トップメッセージ

## TOP MESSAGE

ピープル株式会社  
取締役兼代表執行役

桐渕 真人



## 世界中が舌を巻くほど「夢中で遊ぶ子どもの姿」 2025年はグローバルブランド戦略スタートの年

### ピープルの強みは圧倒的な商品開発力

0-3歳頃のまだうまくお話ができない子どもたち向けにおもちゃを創るには、子どもの様子をよく観察し、そこにある好奇心の芽を見出すことが必要！その信念を持ち続けて40年。

近年、当社が持つ「子どもたちが圧倒的に熱中して遊び続けるおもちゃ」の商品開発力に自信が持てるようになりました。

2025年は次のステージへのステップアップ。3年がかりで開発したグローバル向け新商品とともに、当社のモノづくりのフィロソフィを世界に発信していきます。海外においても「ピープルのおもちゃは好奇心に基づいて創られているから圧倒的によく遊ぶ！」という信頼を獲得することで、価格競争を回避し、差別化された存在となるブランド化を目指していきます。

### 「好奇心事業」ブランド発信ははじめます

当社の商品開発力を確固たるコアコンピタンスとすべく、2022年に「赤ちゃん研究所」の事業をスタートさせました。現在、研究所が提供する「赤ちゃんを味わう

ワークショップ」は発売後数分でチケットが完売してしまう人気コンテンツとなりました。このワークショップはこれまで500組以上のご家族が体験していただき、ファンの輪がどんどん拡大中です。

また研究所の活動を通して、たくさんのメディアやアカデミア、企業からも続々とコラボを持ちかけるお声を頂いております。

赤ちゃん研究所への人々の関心の高さは「子どもの



ことをもっと知りたい！もっと子育てを楽しみたい」という気持ちの表れであり、しかもこれは世界共通であると確信し、当社がスタートさせる「好奇心事業」への手応えを強く感じております。

### 世界に向けて発信！ グローバル向け新商品「1curiosity®」

2025年5月ローンチ予定の好奇心事業第一弾「1curiosity®」は、およそ30か国に及ぶ多くの子どもたちとその親御さんにモニターとして協力して頂き、世界の子どもの好奇心を研究して生まれたもの。

この研究から見てきたこと、それは「日本も世界の子どもたちも、同じ好奇心を持っている」ということ。

一方で、日本と異なり海外では0-3歳の乳幼児におもちゃを与えることが日常化されておらず、おもちゃ売場が充実していないことも分かってきました。

当初、販路の狭さが難題と感じておりましたが、よくよく考えるとこの課題は大きなビジネスチャンスではないのか？と思い直しました。というのも、現在、世界に比べ充実した日本の乳幼児玩具市場があるのは、40年前に発売された当社商品「いたずら1歳やりたい放題」によって「1歳の子どもでもこんなに集中して、自ら遊ぶことができる」と広く認知されたことが大きく寄与していると認識したからです。

つまり再び当社の手によって「おもちゃがキッカケとなって、子どもが好奇心を弾けさせる」というムーブメントを起こし、ピープルブランドを認知させるチャンスに結び付けてまいります。

## TOPICS

1歳の好奇心は世界共通



# 1curiosity

1歳の好奇心がはじけるおもちゃ



2025年5月に日本・英国同時ローンチ予定である世界共通の1歳の好奇心を満たす「1curiosity®」シリーズを英国で開催された保育者向けのEXPOに2月末に出展しました。

「1curiosity®」の製品は、世界の1歳の身の回りの物への好奇心行動の観察・調査をもとに設計・デザインされています。好奇心をきっかけに、1歳が自然と使い方を試行錯誤し、次なる好奇心が連鎖して生まれていくプロダクト。

一見、不思議な見た目をしているけれど、1歳に渡すと…とにかく夢中に遊びます。「なんでこんなカタチなの?」「どうやって遊ぶの?」すべての答えは1歳が教えてくれます。

EXPOでは乳幼児保育や教育に関わる現場担当者及びバイヤーなど多くの来場者から「1curiosity®」が全出展の中でナンバーワンであると評されるなど、こちらの想像を超えた好反応に、このプロジェクトの方向性は間違いないと確信しました。同シリーズを皮切りに当社のブランドの価値を伝え、認知度を高めるPRと広報活動も引き続き注力してまいります。